**タイトル（14pt・太字）**

**―サブタイトル（12pt・太字）―**

□　1行空け

著　者　名（12pt）

□　2行空け

□

＊要旨（Abstract）

論文またはそれに準ずるものについては、冒頭に和文（または英文）の要旨をつける。

要旨　本論文では……

……

……。

□　2行空け

□

＊ページレイアウト

Microsoft Wordのデフォルト（以下）を基準とする。

・余白：上35mm、下・左・右30mm

・文字数：40字×36行

・フォントサイズ：10.5pt

・フォント：日本語・明朝体、英数字・Times系など

1. 序章

1-1 研究の背景

　本論文は、……[[1]](#footnote-1)。

……

……。

1-2 課題

　以上の点をふまえ、本論文の課題は……

……

……。

＊章・節・項の表記

番号づけは「1-1-1」の形式で統一する。番号・見出しともにゴシック体で表記する。

□　1行空け

2. 見出し

2-1-1 見出し

この章では、……

……

＊図・表の番号

和文の場合は図 1・表1、英文の場合はFigure 1・ Table 1の形式で番号をつける。

……

＊注・文献表記・ページ番号

注および文献表記の方法は、一般的な学術雑誌で採用されている形式の範囲で任意とする（参照：次頁）。ページ番号は、表紙を除いてつける。

|  |
| --- |
| **表1　経済学部の現状** |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 出典： |

＜参照：参考文献の例示＞

１）日本語文献

a. 著書

　　例：名城太郎(2017)『名城の経済学部』名城書店，100-105ページ。

b. 論文（雑誌に掲載されたもの）

　　例：名城太郎(2017)「経済学部」『名城論叢』第1巻第１号，5-10ページ。

c. 論文 （共著・論文集などに収録されたもの）

　　例：名城太郎(2017)「名城の経済学部」（名城次郎編『市場システムの理論』名城書店）138-145ページ。

d. 新聞

　　例：『日本経済新聞』2017年6月14日付，夕刊。

２）外国語文献

a. 著書

　　著者名，出版年，書名，版次，出版地，出版社，引用ページ．

例：Huff, K. M., and Hertel, T. W.(2011), Decomposing welfare changes in the GTAP model’, Purdue University Press, pp.80-89.

b. 論文（雑誌に掲載されたもの）

　 著者名，出版年，“論文名”，雑誌名，巻・号，引用ページ．

例：Gerlagh, R and O Kuik(2014) “Spill or leak? Carbon leakage with international technology spillovers: A CGE analysis”, Energy Economics, 45(1), pp 381-388.

c. 論文（共著・論文集などに収録されたもの）

著者名，出版年，“論文名”in 書名，ed. by 編者名，出版地，出版社，引用ページ．

例：Shepherd, W., (2014)“Monopoly and Antitrust Policies in Network-Based Markets such as Electricity ”in The Virtual Utility : Accounting, Technology & Competitive Aspects of the Emerging Industry, ed. by Awerbuch, S., A. Preston, Boston, Kluwer Academic Pub., pp201-221.

1. 名城太郎『名城大学経済学部』名城大学，2017年，1頁。 [↑](#footnote-ref-1)